

当初案「奥平信昌と加納城」改め... 「奥平家と美濃加納城」 —長篠・新城と岐阜・加納の数奇な関係—

水野 義之
国史跡加納城跡保存・活用推進フォーラム
https://kanoujo.org/
京都女子大学名誉教授
2025/08/30 (土)



「戦国博覧会」(長篠合戦450年/新城市政20年) @愛知県新城市
(亀姫没後400年、奥平信昌没後410年) (2040年: 加納町岐阜市合併100年)
没1625年、 没1615年

はじめに

- 戦国博覧会の「ワークショップ」(主催: 新城市・新城市教育委員会)
- 新城の会場(現地) + 岐阜の会場(遠隔)
 - 我々: 岐阜市の登録市民団体。「よみがえれ加納城」
 - 「国史跡加納城跡保存・活用推進フォーラム」(加納城フォーラム)
- 今年度(R7)岐阜市市民活動支援事業に採択
 - 岐阜市: 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
 - 是非 観光で、奥平信昌公と縁が深い岐阜と加納へ
 - 岐阜市「いざナビ」(道案内マップ)作成

もくじ

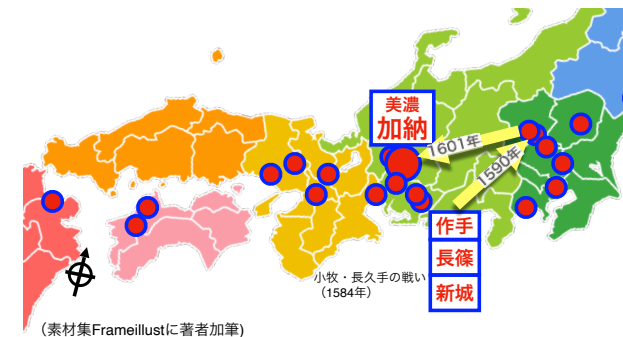
- 奥平信昌とは (今日のテーマ)
 - 美濃の加納とは (どういう場所?)
 - 加納と奥平氏のつながりを探る
- 各地の奥平氏と美濃加納(中津、宇都宮、作手、小幡、長篠・新城、忍、小田原)
 - まとめ

1. 奥平信昌とは (今日のテーマ)

奥平信昌とは(新城市Webページ)

- 天正3年(1575)の長篠の戦い。長篠城主であった奥平貞昌は、家臣である鳥居強右衛門等の決死の働きにより城を死守しました。
- この功績により、翌年貞昌は、信長から一字をもらい信昌と改名し、郷ヶ原に新城を築きました。同年12月、信長のとりなしで家康の長女亀姫をめぐり、4男1女をもうけました。信昌の新城築城は、現在の中心市街区を形成する基礎となり、「新城」の地名の由来にもなっています。
- 奥平家のふるさは群馬県吉井町下奥平にあります。8代貞俊の時、作手村に移り、12代貞能、13代貞昌は、今川、徳川、武田に属しながら戦国の世を生きのびました。長篠・設楽原の戦いを経て、新城城主となった奥平信昌(貞昌)は、天正18年(1590)家康の関東入国と同時に上州宮崎(群馬県富岡市)に移り、その後、初代京都所司代となり、慶長6年(1601)岐阜加納10万石の大名となりました。加納では、城下の整備や治山治水事業につとめ、元和元年(1615)61歳で死去しています。
- 加納奥平は3代で絶えますが、宗家にあたる宇都宮奥平は家昌・忠昌・昌能・昌章と続き、昌成のときに豊前国中津10万石の大名として迎えられました。藩主は、昌成・昌敦・昌麿・昌高・昌暢・昌猷・昌服・昌通と続き、最後の昌通は華族令(後略)。

今日の話は..... 奥平氏: 長篠・新城その後

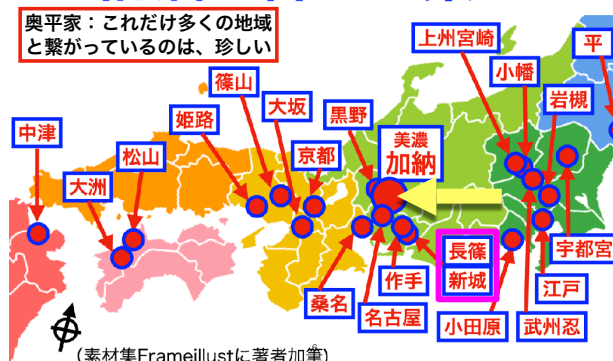


(素材集Frameillustに著者加筆)

今日のテーマ:

- 疑問1(理由): なぜ奥平家は、ここまで多くの地域と、繋がっているのか?
- 疑問2(関係): その事実と、美濃の加納は、どういう関係に、あるのか?
- 疑問3(事例): 奥平家と各地のつながりは、具体的に、どういうものだったか?
- 今日は、この3つの疑問に、答えたい

加納という地域はどこにあるか? 加納藩と各地の繋がり

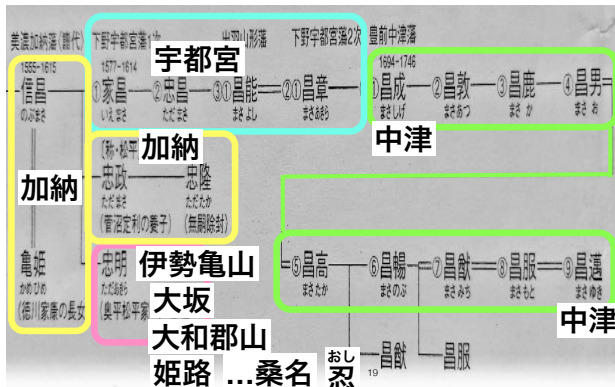


(素材集Frameillustに著者加筆)

2. 美濃の加納とは (どういう場所か?)

加納=加納藩 城下町(10万石)
+ 中山道 宿場町(美濃最大)

奥平氏の家系図



大分県中津

亀姫と奥平信昌が
家系図トップに



栃木県宇都宮 奥平家と宇都宮藩

城主名	読み	石高	転封前	就任	退任	転封後	できごと
23	浅野 長政	ながまさ	—	1597	1598	城代	
24	蒲生 秀行	ひでゆき	18万	陸奥国会津	1598	1601	陸奥国会津 関が原の戦い
25	大河内金兵衛	きんべい	—	1601	1601	城代	
26	奥平 家昌	いえまさ	10万	上野国小幡	1601	1614	
27	奥平 忠昌	ただまさ	10万	下総国古河	1614	1619	初の日光社参
28	本多 正純	まさすみ	15.5万	下野国小山	1619	1622	改易 釣天井伝説
29	奥平 忠昌	ただまさ	11万	下総国古河	1622	1668	寛文の社参
30	奥平 昌能	まさよし	11万	1668	1668	出羽国山形	
31	松平 忠弘	ただひろ	15万	出羽国山形	1668	1681	陸奥国白河 浄瑠璃坂の仇討
32	本多 忠孝	ただひら	11万	陸奥国白河	1681	1685	大和国郡山
33	奥平 昌章	まさあき	10万	出羽国山形	1685	1695	
34	奥平 昌成	まさしげ	9万	1695	1697	丹後国宮津	
35	阿部 正邦	まさくに	10万	丹後国宮津	1697	1701	
36	西田 忠重	ただしげ	7.5万	越前国小幡	1701	1714	

資料：宇都宮城跡資料室 パネル

武田勝頼 vs. 信長・家康連合軍

奥平信昌 寝返る (人質3人)

長篠合戦 籠城戦

信昌 鳥居強右衛門を派遣

強右衛門「援軍が来るぞー」

強右衛門→はりつけ

信長：柵と縄は岐阜から足輕

信昌は耐え抜く。勝利

信長は信昌を激賞→家康長女亀姫を娶る

資料：設楽原歴史資料館 (新城市)

三河国 作手の奥平氏 (加納の写真)



信長は柵と縄を岐阜から運んだ

信長は、13日岐阜を出発し、18日家康と共に設楽原に着き、連吾川の西岸に馬ふせぎの柵の構築・諸将の布陣に着手した。

資料：長篠城址史跡保存館 (新城市)26

奥平神社：貞能, 信昌, 家昌, 仙丸

奉弔 仙千代君 福澤諭吉

莫由生戦死酬恩。総髻首理黒屋村誰識当年濺袖血。滴余今尚潤家門

生きて戦うに由なく死して恩に酬ゆ。総髻の首は理黒屋村誰か識らむ当年袖に濺さし血の、滴余今尚家門潤さむとは

1570年 作手で「一族二分」密談人質：仙千代(仙丸)[貞能の子、信昌の弟10歳]。武田勝頼の人質[信昌の妻 於フウ13歳+虎之助13歳]。信玄の死後 貞能と信昌は徳川に寝返る (祖父貞勝ら多数残留)。武田勝頼 激怒→切腹・処刑。

「多くの苦渋と犠牲の上にもたらされた長篠合戦の功績と亀姫との結婚」(野村武男『徳川家康の孫娘仙姫』)

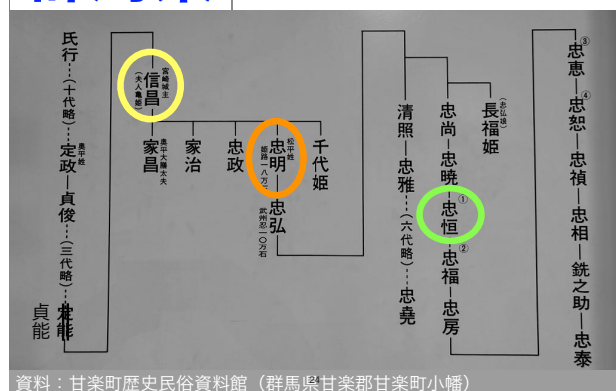
大分県中津でこの漢詩が書かれた

1570年 作手で「一族二分」密談人質：仙千代(仙丸)[貞能の子、信昌の弟10歳]。武田勝頼の人質[信昌の妻 於フウ13歳+虎之助13歳]。信玄の死後 貞能と信昌は徳川に寝返る (祖父貞勝ら多数残留)。武田勝頼 激怒→切腹・処刑。

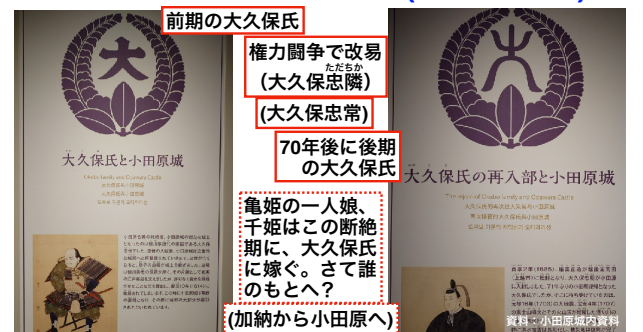
「多くの苦渋と犠牲の上にもたらされた長篠合戦の功績と亀姫との結婚」(野村武男『徳川家康の孫娘仙姫』)

大分県中津でこの漢詩が書かれた

群馬県 小幡の(奥平)松平氏



小田原合戦(1590)で北条氏滅亡=秀吉の全国統一。小田原は大久保氏に。秀吉→家康を関東移封+ (信昌も同行)



加納城主(藩主) 歴代一覧

資料出典：『加納町史』、田中豊編
『加納町史に見る歴代加納藩主の事』

代	城主	任命	在任期間	領石	備考
1	奥平信昌	美作守	慶長6(1601)～慶長7(1602)	10万	上州宮崎より
2	松平忠政	摂津守	慶長7(1602)～元和元(1615)	13	〃
3	〃 忠隆	飛騨守	元和元(1615)～寛永9(1632)	17	死没継嗣なし
4	从 ^{つぎ} 忠職	加賀守	寛永9(1632)～同 19(1639)	7万5千	小田原より 転へ
5	松平元重	丹波守	寛永16(1639)～寛文8(1668)	29万7千	〃
6	〃 光永	〃	寛文8(1668)～宝永2(1705)	37	〃
7	〃 光熙	〃	宝永2(1705)～正徳元(1711)	6	山城定へ
8	安藤信友	対馬守	正徳元(1711)～享保17(1732)	21万6千5百	備中松山より
9	〃 信尹	〃	享保17(1732)～宝暦5(1755)	23	〃
10	〃 勝蔵	〃	宝暦5(1755)～同 6(1756)	1万5千	奥州磐城平へ
11	永井直隆	伊賀守	宝暦6(1756)～同 12(1762)	6万3千	武州岩槻より
12	〃 尚備	〃	宝暦12(1762)～明和6(1769)	7	〃
13	〃 直旧	〃	明和6(1769)～寛政2(1790)	21	〃
14	〃 尚佐	肥前守	寛政2(1790)～天保10(1839)	49	〃
15	〃 尚典	〃	天保10(1839)～文久2(1862)	23	〃
16	〃 尚服	〃	文久2(1862)～明治2(1869)	7	明治維新

まとめ

最初の疑問に答えられたか？

29

疑問3(事例)：奥平家と各地のつながりは、具体的に、どういうものだったのか？

- 各地の奥平氏と美濃加納：中津、宇都宮、作手、小幡、長篠・新城、忍、小田原
- 奥平信昌：作手、長篠・新城、小幡、(関ヶ原)加納
- 加納の奥平：信昌、忠政、忠隆、(4歳早世)
- 奥平家昌(嫡男)：宇都宮、中津
- [奥平]松平^{ただあきら}忠明：伊勢龜山、大坂、大和郡山、姫路、桑名、...^{おし} 忍
- 千姫と大久保氏：小田原、加納

30

疑問2(関係)：その事実と、美濃の加納は、どういう関係に、あるのか？

- 奥平信昌：作手(20年)、長篠(2年)、新城(14年)、小幡(10年)、(関ヶ原)、加納(15年)：61歳(加納は安住の地)
- 亀姫：家康の正妻^{つぎやま}築山殿の長女、幼少期は人質、救出、母と実兄信康を失う、政略結婚(家康と信昌の取引)16歳、新城(14年)、小幡(10年)、(関ヶ原)、加納(25年)：65歳(加納は安住の地)
- 奥平信昌と亀姫の墓所：岐阜市加納^{せいとく}の盛徳寺(水野家から500m)
- 加納には徳川町も奥平町もある(光国寺と盛徳寺)
- 千姫と大久保氏(小田原)：加納、(大久保氏の安泰へ)
- 亀姫は病床で「大久保忠職^{ただもと}の懇ろ^{ねんご}」を家光に懇願^{こんげん}、蟄居^{ちつきよ}の赦免

31

疑問1(理由)：なぜ奥平家は、ここまで多くの地域と、繋がっているのか？

- 一地方豪族だった奥平氏(家名を残す努力をした)
- 奥平氏「12代貞能、13代貞昌は、今川、徳川、武田に属しながら戦国の世を生きのびました」(新城市)
- 「多くの苦渋と犠牲の上にもたらされた長篠合戦の功績と亀姫との結婚」(野村武男『徳川家康の孫娘仙姫』)
- 奥平家では江戸時代も先祖を偲ぶ会を毎年催した
- 中津の福澤諭吉「奉弔^{ほうちよう}仙千代君」先祖の苦労の理解と伝承
- 中津の奥平宗家：5/21「たにし祭り」今も継続

32

長篠・新城と岐阜・加納の数奇な関係

- 1575年：信長は岐阜城にいた
 - 5/13-18：岐阜から長篠まで馬防柵を運ばせた
- 1601年：岐阜城を破却→加納城の一部になった
- 270年間：岐阜城＝古城跡。加納城だけが城。
- (岐阜城を介して)長篠と加納が繋がる
 - (直接)奥平信昌＝加納から見ると初代加納城主
- 加納城再建を目指す団体：岐阜市民活動団体指定、市民活動支援事業(令和7年度)
 - 「国史跡加納城跡保存・活用推進フォーラム」

まとめ

- 今日のお題：当初案「奥平信昌と加納城」改め...

「奥平家と美濃加納城」

- 副題「長篠・新城と岐阜・加納の数奇な関係」

- 1.長篠合戦の後...信昌:新城→上州宮崎→京都→加納(10万石)藩主
 - 奥平信昌はその後どうした？奥平家はその後どうなった？
- 2.全国の奥平家の足跡を辿ってみた(私が)。非常に数が多い
 - 中津、宇都宮、作手、小幡、長篠・新城、忍、小田原
 - なぜ多い？加納との関係？例えば？
- 3.結論：長篠と加納の関係理解を通して、奥平家の特殊事例は、一般性のある理解に繋がるのではないか(作業仮説)